

### 自由のタイミング (1サムエル 1:9-11)

イエス様を信じると、すべてがうまくいくと期待しているのですが、実際には信じたあとに試練や苦しみがあります。その理由を聖書を通して正しく知るなら、その試練や苦しみにとらわれずに生きていくことができます。今日の聖書箇所では、ハンナが子どもがいないということで、苦しみ神様に訴える場面です。なぜ私だけが苦しみに会うのかと泣いていたのですが、最終的に誓願をたて、子どもが与えられたら神様にナジル人としてささげますという祈りをします。そのような神様の願い、みこころのために祈るようになるまで、ハンナは悲しみのため息をつくしかありませんでした。その理由から考えてみましょう。

**なぜ信者に試練や苦しみがあるのでしょうか。**それは、救われて、根本的にすべての死と罪の原理から解放され、自由になっているのに、**考えの中には古きものが刻印されているので、それがあることを表すために**神様が与えられるのです。悲しんで泣くしかないと思える状況であっても、少しじっくりと考えてみましょう。ダビデは、なにも悪いことをしていないのに、サウル王に追われるつらい試練に会いますが、私には乏しいことがありますと告白します。つまり、状況が苦しいことと、悲しみやため息をつくことはイコールではないのです。ヨセフもパウロもそうでした。ハンナが悲しんだのは、古い考えが刻印されていたからです。その古い考えは、神様を離れた自分中心の考え、肉中心の考え、世の中中心の考えです。自分がよければ幸せで、良くないと不幸だと思ひ、肉的に安定して裕福なら良い、それでないとだめだと思ひ、世が価値あると言うことが目標で、そちらの方向に行くならよくて、そうでなければだめだと思ひのは、古い基準が刻印されていて、滅びの運命から解放されているのに、頭の中には刻印が残っているのです。なぜ試練は苦しみだと思ひのかというと、その基準と合わないからです。実際には基準が世の中のものであることをあらわしていやそうとされます。そのような世の基準を持っているなら、救いの祝福が力を発揮することができないのです。試練のときに反応する自分を見て、

実際には、自分は自分中心、肉中心、世の中中心が刻印されていると気づくようになります。それは、神様があなたをダメだと言われるのではなく、それが救いの祝福を邪魔しているのだから、気づきなさいと言われていたのです。

また、多くの信者が他の人と比較して、悲しむことがあります。それは、古きものに束縛されて、自由がない奴隷のままの姿です。イエス・キリストの血によって新しく造られたので、新しい勝利の道を歩むために、すなおに正直に自分を見て、**救いの祝福、キリストを实际的に味わう人間になりなさいと神様は言われます。**理論だけ、頭の中に留まるのではなく、实际的に味わうようにしましょう。实际的に味わう方向にスイッチを切り替えるときに、束縛から自由になります。フォーカスを環境、状況、自分の限界から変えて、救いの祝福とキリストに合わせるようにしましょう。それがサタンとの戦争であり、サタンを踏み砕くようになります。問題があってもなくても、関係なく、十字架で完了され、罪と死の原理から永遠に解放された(ローマ8:2)祝福を握りましょう。すべての問題は終わったと味わいましょう。三位一体の神様が聖霊を通して私の中にとともにおられ、永遠に離れずいてくださいます。私はキリストとともに十字架で死んで、キリストが活着しているのです(ガラテヤ2:20)。神の神殿と呼ばれる存在で、どんな状況でもすでに天にあるすべての霊的祝福を受けている(エペソ 1:3)ので、幸いな幸せな者です。土の器ですが、内に宝のキリストがおられ、すべてが新しくなり、古いものは終わりました(IIコリント 5:17)。すべてを満たされるキリストのからだ、教会となり、神様とワンネスとなりました(エペソ 1:23)。私を通して神様の力と権威があらわされる存在になりました。イエス様しかできないのちの宣教の働きがゆるされています。光であり、王であり祭司になりました。それを実際に味わうことを神様は望んでおられます。そのために試練を与えられるので、どんなことがあっても、完璧な祝福を感謝して、実際に味わいましょう。祝福は変わりません。すべてを働かせて益とされる不思議な祝福の世界

です。With Immanuel Oneness の祝福を味わい、聖霊の力と導きによって生きる救いの祝福を味わいましょう。

そのように味わうなら、世を見る目が開かれるようになります。発展しているようでも、世にはキリストの他には希望がないと、実際に目が開かれ、そのために自分が召されたことがわかります。それゆえ、**イエスの証人、福音宣教のために生きるという、絶対契約の結論**にたどりつきます。そのとき、自分がどうであっても残りの生涯どうであっても、イエスの証人として決心します。それが**自由になるタイミング**です。生きても死んでも、福音宣教のため、イエスの証人として生きるとなると、サタンが完ぺきに砕かれて、自由になります。

古いものが刻印されているとすなおに認め、救いの祝福とその完ぺきな祝福を実際に味わう者になりましょう。そうすれば、残りの生涯、使命のために、イエスの証人となると決心するようになります。サタンが踏み砕かれ、自由になります。使徒1:1, 3, 8を深く黙想して決心しましょう。生きる理由はただひとつ、イエスの証人、世の光です。ですから、なにがどうなっても、使命とは関係ないとなり、福音宣教、イエスの証人となることは、かわらず成し遂げられるので、祝福を味わうようになります。神様は永遠から隠されているものをあらわしてください、その祝福を味わう者になります。その勝利があるようにお祈りします。

(<http://jremnant.com> に音声と動画が出ています)

#### 1サムエル記1:9-11 自由のタイミング

なるほど/ 救われた信者なのに、願ってもない試練と苦痛があるのは、刻印された古きものを表わし、救いの祝福を实际的に味わうようにする神の導きである。その結果、世を見る目が開かれ、条件なしで使命の人生を決断するようになり、その時、捕われているすべてから自由になる。

ならば/ 試練と苦痛にだまされず、不平と落胆などせず、神の導きに求めよう。使命の人生を決断し捕われているすべてから自由になろう。

#### インマヌエル教会聖日メッセージ祈り文 (2020年1月19日)

##### 1部礼拝：不可能な約束 (創15:1-11)

私の力では絶対不可能な事実を知って、絶対契約を見つけて、絶対契約の旅程を歩み、絶対契約の目標を成し遂げる祭壇を築くようにされて感謝します。今の私ではなく異なる私、霊的背景と霊的奥義を持った人であることを知りますように。神様が私の盾、私の報いとなる異なる力を味わいながら、世の中を生かしますように。絶対契約を信じた私を義人とされて、暗やみに陥った者を生かして、237、いやし、次世代をサミットにして、世の中を生かすまことの神殿、まことの教会を建てながらまことの証人になりますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。

##### 2部礼拝：すでに勝利した戦いの始まり (創17:1-8)

私たちが確実な福音を持っているために、すでに世界福音化は成し遂げられていて、すでにすべてを受けて、すでに勝利した戦いをするようにされて感謝します。キリストがサタンの権威をすべて打ち砕かれたことを知って、信仰を持って進み、勝利の旗を掲げますように。237 万国、全世界のいやし、全世界のレムナントをサミットに育てるシステムを作ることに24しますように。残った人生に器を準備して、メイソン戦争をして、契約を握って人生の決断を下しますように。イエス・キリストの御名によってお祈りします。アーメン。